

境川・清住緑地 環境整備構想ワークショップ

清住町 境川・清住緑地と南隣の湧水地

三島市と清水町の境に位置する「境川・清住緑地」は、市街地の中にありながら美しい湧水池が残り、たくさんの動植物が生息する豊かな自然環境を有する楽しい自然公園です。

平成13年に完成した後、現在は地域住民が組織する「境川・清住緑地愛護会（事務局：NPO法人グラウンドワーク三島）」が公園の管理を担い、三島西小の児童たちと、水田でもち米づくりなどを行っています。

この度、境川・清住緑地の南隣に位置する約3,000m²を三島市が買収し、公園範囲が拡大されることになりました。この場所には湧水を水源とするコンクリート池があり、さらにその東隣には「三つ又」と呼ばれる流域最大の湧水地が残されています。今後、公園を拡大していくにあたり、これらの豊富で貴重な湧水や、境川・清住緑地をどのように活用させていくかを考えていく必要があります。



境川・清住緑地



三つ又

そこで今回、境川・清住緑地と隣接地を連携した土地を「富士山・境川・大湧水公園」として整備するための整備構想や、今後の利活用等を地域住民の皆様と考える「環境整備構想ワークショップ」を開催いたします。関心のある皆様のご参加をお待ちしています。

1. 日 時 平成28年1月9日（土）9:30～12:00
2. 場 所 西地区コミュニティ防災センター（三島市緑町6-6）
3. 講 師 渡辺 豊博（グラウンドワーク三島専務理事、都留文科大学教授）
4. 内 容 境川・清住緑地と南隣の湧水地の環境整備構想と今後の利活用等について検討します。
5. 申込み 不要。直接会場にお越しください。

渡辺 豊博（農学博士）



静岡県庁職員を経て、2008年4月より都留文科大学文学部社会学科教授。1992年、故郷・三島市の水辺環境改善を目的として、市民・NPO・行政・企業がパートナーシップを組む、英国で始まったグラウンドワーク（環境改善活動）を取り入れたNPO法人グラウンドワーク三島を立ち上げ「水の都・三島」の地域再生を実現。地方創生で注目の徳島県上勝町や神山町、英国・韓国・台湾などの地域づくりに詳しい。

【主催・問合せ】NPO法人グラウンドワーク三島（担当：事務局 美和）

〒411-0857 静岡県三島市芝本町7-11 TEL 055-983-0136 FAX 055-973-0022

Eメール info@gwmishima.jp URL <http://www.gwmishima.jp/>

【助成】独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金

